NIE実践報告

1．タイトル：新聞を活用したクラス討議の工夫

2．学校名

新潟県上越市立柿崎小学校

3．実践者名（代表者名）

杉田和浩

4．学年

６学年

5．教科・領域名および受講児童・生徒数

道徳　２２名

6．単元（本時の学習課題）名

強い心ってなに？ 1-(2)希望,勇気,不撓不屈

7．目標(狙い)

友達の考えを参考にしながら「強い心」について自分なりの考えをもち、実践していこうとする意欲を高める。

8．評価の視点

友達の考えを参考にしながら強い心について自分なりの考えをもち、実践していこうとする意欲をもとうとしている。

9．年間指導計画における本単元の位置づけと時数
（または、単元展開および時数と本時の位置づけ）

①「強い心」に関する資料集（東日本大震災関連の新聞記事）を読み合う。（１時間）
②クラス討議に向けて、自分の考えを整理する。（１時間）
③クラス討議を行い、「強い心」についての考えを深める。（1時間）本時

10. 単元（本時）の学習展開（含む時数）と留意点

本時（1/3時間）
①学習のめあてをもつ。
②クラス討議の方法とマナーを確認する。
③クラス討議をする。
④本時の学習を振り返る。
⑤教師の話を聞く。
＜留意点＞
・未曽有の大震災の中で自分にできることに取り組んだ人を紹介した新聞記事を集めて資料集を作成する。それらを合わせて読むことで、年齢や職業、立場の異なる人がそれぞれに自分にできることに取り組んだことを見つめさせる。
・自分が選んだ記事と根拠、自分にとっての「強い心」を記述するワークシートを提示し、クラス討議において根拠を明確にして伝え合う手掛かりとさせる。

11. 児童・生徒の反応、感想・意見

根拠となる記事を示して「強い心とは誰かのために頑張る心」「失敗を怖がらない」「仲間のためにやり遂げること」「くじけないこと」「他人に曲げられずに行動すること」等、児童一人一人が自分にとっての「強い心」を述べることができた。

12. 成果と課題

・本題材を通して、自分の心に迫る記事を選んで自分の経験や考えと対比させて考える様子、友達が選んだ記事や考えに共感する様子、記事から自分の生き方を探る様子が見られた。記事を複数提示することで、児童同士のかかわりを促すとともに様々な人の生き方から「強い心」を多面的に考えさせることができた。
・命と向き合っているという重大さが児童の共感を生んだ反面、状況が違い過ぎ自分に返して見つめ直すことが難しかった。「自分にはできない」等の児童の反応を受け止め、問い返していく指導の手立てを考えていく必要がある。